

第 118 回・日商簿記検定試験 2 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

当座預金	受取手形	売掛金	売買目的有価証券
未着品	積送品	委託販売	前払金
建物	建設仮勘定	支払手形	買掛金
受託販売	前受金	裏書手形	割引手形
売上	未着品売上	積送品売上	売上値引
仕入割引	有価証券利息	有価証券売却益	仕入
仕入値引	売上割引	社債利息	有価証券売却損

1. 「商品の引渡日から 30 日以内に代金の決済を行った場合には 3%の割引を行う」という条件で商品 40,000 円を掛売りしたが、商品の引渡日から 30 日後に当たる本日、3%の割引額を控除した金額が当座預金の口座に振り込まれていた。
2. 他店より販売を委託されていた商品を 100,000 円で掛売りした。
3. 遠隔地にある仕入先に商品 100,000 円を注文していたが、本日この商品に取り組みられた額面 60,000 円の荷為替手形の呈示を受けたので、これを引き受け、商品の貨物引換証を受け取った。
4. 2月23日、手許にある額面総額 100,000 円の社債を額面 100 円につき 97 円の裸相場で売却し、売却代金は端数利息とともに受け取り、直ちに当座預金とした。なお、この社債は、売買目的の有価証券として、当期の 12 月 12 日に額面 100 円につき 96 円の裸相場で買い入れた他社発行の社債（利率年 3%、利払日は 3 月末と 9 月末の年 2 回）である。また、端数利息の金額については 1 年を 365 日として日割りで計算する。
5. 建設会社に依頼していた建物の建設工事が完了し、建物の引渡しを受けたので、建設工事代金 5,000,000 円からすでに支払っていた手付金 2,000,000 円を差し引いた残額 3,000,000 円を小切手を振り出して建設会社に支払った。